

2010年度著書出版・海外学会等参加助成の結果について

Nextcom 監修委員会からの推薦を受けて、財団法人KDDI財団で審査されていた、2010年度の著書出版・海外学会等参加助成を受けられる方々が決定し、2011年1月21日に決定通知書が贈呈されました。

「第1回 著書出版・学会等参加助成」を受けられた方々

●著書出版助成 2名 助成金：各200万円

櫻井 直子氏 (さくらい なおこ)
早稲田大学 アジア太平洋研究センター
特別研究員・早稲田大学 学生部 事務副部長
著書：『情報セキュリティの価値と評価－
ユーザーが考える個人情報の値段』（仮題）



林 秀弥氏 (はやし しゅうや)
名古屋大学 大学院法学研究科 准教授
著書：『企業結合規制－独占禁止法における
競争評価の理論－』（仮題）



●海外学会等参加助成 1名 助成金：25万円

金 美林氏 (きむ みりん)
慶應義塾大学 メディア・コミュニケーション
研究所 研究員
参加学会・会議：Pacific
Telecommunication Council
(2011年1月16日～1月19日、ハワイ)



●財団法人 KDDI財団 伊藤 泰彦 理事長

昨年、様々な国の実情を見る機会がありましたが、各国ともICTによる国の発展を重視しており、アフリカなどの発展途上国でも、ICTを通じて貧困からの脱出を試みています。発展が著しいICTの事業に対して、自由な発言の場を創出し、そしてその発言を支援することは、社会貢献の視点からも理に適ったものだと考えており、今後も全面的に支援をして参ります。

●Nextcom 監修委員会 林 敏彦 委員長 (同志社大学大学院教授)

研究者にとって、著書出版や海外学会への参加はとても大切であり、Nextcom誌の発行を通じて情報通信の制度・政策に関心を持つ研究者に考えや著作発表の機会を設けることが実現できたことには、感慨深いものがあります。今回、著書出版助成は二つの採択枠に、5件の申請があり、その5件のどれが採択されても申し分のないものでありました。研究成果を著書として出版したいという力強い意気込みを、5件すべての申請書から感じることができたことは、同じ研究者として喜びでもありました。採択されなかった方々も、ぜひとも再チャレンジしていただきたいと考えています。